

大学番号：私短236

届出

[平成23年度設置]

計画の区分：短期大学の学科の設置

関西女子短期大学 医療秘書学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 玉手山学園
平成24年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22
8. 別紙資料	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 玉手山学園

(2) 大学名

関西女子短期大学

(3) 大学の位置

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(エバタ ゲンジ) 江端 源治 (平成15年4月)		
学長	(ソブエ シズオ) 祖父江 鎮雄 (平成22年4月)		
学部長			
学科長等	(ホリ ハツコ) 堀 初子 (平成23年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療秘書学科 短期大学士 (保健学)	2年	60人	—年次	120人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度				平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (—) [—]	— (—) [—]	60 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.04 倍	
志願者数	80 (—) [—]	— (—) [—]	58 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	78 (—) [—]	— (—) [—]	57 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	76 (—) [—]	— (—) [—]	57 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	69 (—) [—]	— (—) [—]	56 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.15		0.93							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成23年度		平成24年度						備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—] 69	[—] —	[—] 56	[—] —	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[—] 64	[—] —	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[—] 69	[—]	[—] 120	[—]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
			平成23年度 入学者	69 人	5 人		
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	56 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
合 計	125 人	5 人					4.0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療秘書学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目系列	基礎演習Ⅰ	1前	1			3	2	1	3		適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減(23)		
	基礎演習Ⅱ	1後	1			3	2	1	3			適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減(23)	
	日本語表現法Ⅰ	1前		1									
	日本語表現法Ⅱ	1後		1									
	生命倫理学	2前		2									
	心理学	1前		2									
	行動科学	1前		2									
	社会学	1前		2									
	女性学	1後		2									
	現代と法(憲法を含む)	1後		2									
	生物学	1後		2									
	総合コース	1後		2		1							
	外国語科目	英語Ⅰ	1前		2							履修希望者がいなかったため(23)(24)	
		英語Ⅱ	1後		2								
		英語コミュニケーション	2後		2								
		英会話	1後		1								
		フランス語Ⅰ	1後		2								
		フランス語Ⅱ	2前		2								
		日本語	未開講 1前		1								
	健康教育科目	健康科学	2後		1								
		スポーツⅠ	1後		1								
		スポーツⅡ	2後		1								
	情報教育科目	コンピュータ基礎Ⅰ	1前		1		1						「情報社会論」、「医療情報システム論」との連携強化のため開講時期変更(23)
		コンピュータ基礎Ⅱ	1後		1		1						
		情報処理論	2前 1前		2		1						
		情報社会論	2後		2								
	福祉教育科目	21世紀の福祉	1後・2前		2								「介護技術」との連携強化のため開講時期変更(23) 授業内容を再考した結果担当者を兼任教員に変更(24)
		地域福祉論	1前・後		2								
		介護概論	1前・2前		2		1						
		介護実習	2後		1								
		手話	1後		1								
	介護技術	1後・2前		1			1		1				
	小計(32科目)	—	2	48	0	3	2	1	1 3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科必修科目	研究演習Ⅰ	2前	1			3	2	1	3		適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減(24) 適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減(24)
	研究演習Ⅱ	2後	1			3	2	1	3		
	人体構造・機能論Ⅰ	1前	2					1	1		
	人体構造・機能論Ⅱ	1前・後	2					1	1		
学科選択科目	人体構造・機能論Ⅲ	2後 2前		2						1	「人体構造・機能論Ⅰ」との連携強化のため開講時期変更(23) 担当教員のコマ数見直しのため開講時期変更(24) 「臨床検査概論」との連携強化のため開講時期変更(24)
	薬理学	2前		2							
	医学入門Ⅰ	1後		2			1				
	医学入門Ⅱ	1後		2			1				
	医学基礎Ⅰ	2前		2							
	医学基礎Ⅱ	2前		2							
	臨床医学Ⅰ	2前		2							
	臨床医学Ⅱ	2後		2							
	臨床医学Ⅲ	2後		2							
	臨床医学Ⅳ	2後		2							
	病態栄養学	2後 2前		2				1			
	臨床検査概論	2前		2				1			
	発達と老化の理解Ⅰ	1後		2							
	発達と老化の理解Ⅱ	2前		2		1					
	認知症の理解Ⅰ	1後		2					1		
	認知症の理解Ⅱ	2前		2					1		
	障害の理解Ⅰ	1後		2						1	
障害の理解Ⅱ	2前		2						1		
学科選択科目	医療秘書概論	1前		2		1					
	医療秘書実務Ⅰ	2前		1		1	1				
	医療秘書実務Ⅱ	2後		1		1	1				
	保健医療福祉関連法規	1後		2							
	医療管理総論	2後		2							
	医療制度概論	1前		2							
	医療システム論	2前		2							
	診療報酬概論	1前		2					1		
	診療報酬請求事務演習Ⅰ	1前		1					1		
	診療報酬請求事務演習Ⅱ	1後		1					1		
	診療報酬請求事務演習Ⅲ	2前		1					1		
	診療報酬請求事務演習Ⅳ	2後		1					1		
	医事コンピュータ演習	2前		1					1		
	診療報酬特論	2前		2							
	包括算定演習	2後		1							
	小児クランク概論	2後		1			1				
	救急処置	2前		2							
介護保険概論	2後		2								
医療秘書病院実習	2休		4		1						
診療情報管理系科目	診療情報管理学	1後		2							
	国際疾病分類論	2前		2							
	分類法Ⅰ	2前		1							
	分類法Ⅱ	2後		1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目 系 列	情 報 管 理 系 科 目	秘書概論	1前	2		1					班編成での授業運営上、同一教員による同内容での教授が望ましいと再考したため教員を1名に変更(23) 班編成での授業運営上、複数教員による教授が望ましいと再考したため再度追加(24) 班編成での授業運営上、同一教員による同内容での教授が望ましいと再考したため教員を1名に変更(23) 班編成での授業運営上、複数教員による教授が望ましいと再考したため再度追加(24)
		秘書実務 I	1前	1		1 ±	1				
		秘書実務 II	1後	1		1 ±	1				
		メディカルコンピューティング I	2前	1		1					
		メディカルコンピューティング II	2後	1		1					
		医療情報システム論	2後	2		1					
	学 科 選 択 科 目	介 護 福 祉 系 科 目	介護の基本 I	1前	2		1				「介護の基本」の集大成と位置づけるため開講時期変更(24) 「生活支援技術 I」との連携強化のため開講時期変更(24) 「生活支援技術 VI」との連携強化のため開講時期変更(24) 「介護福祉特論 II」との連携強化のため、同一教員による教授が望ましいとの再考により担当者変更(24)
			介護の基本 II	1後	2		1				
			介護の基本 III	1後	2		1				
			介護の基本 IV	2前	2		1				
			介護の基本 V	2後 2前	2		1				
			コミュニケーション技術	1前	2						
			バリデーション	2前	2						
			生活支援技術 I	1前	1					1	
			生活支援技術 II	1後 1前	1					1	
			生活支援技術 III	1前	2					1	
			生活支援技術 IV	1後	2		1				
			生活支援技術 V	2前	1					1	
			生活支援技術 VI	2前	1					1	
			生活支援技術 VII	2前 2後	1		1				
			介護過程総論	1後	2					1	
			介護過程 I	1後	1					1	
			介護過程 II	2前	1					1	
			介護過程 III	2前	1					1	
			介護過程 IV	2後	1					1	
			介護総合演習 I	1前	1					1	
			介護総合演習 II	1後	1					1	
			介護総合演習 III	2前	1					1	
			介護総合演習 IV	2後	1					1	
			介護福祉施設実習 I	1休	6					1	
	介護福祉施設実習 II	2休	5					1			
	介護福祉特論 I	2後	2			±			1		
	介護福祉特論 II	2後	2						1		
介護福祉特論 III	2後	2						1			
福 祉 基 礎 科 目	医療と福祉	2後	2								
	医療心理学	2前	2								
	人間関係論	1前	2				1				
	コミュニケーション基礎論	1後 1前・後	2				1				
	音楽	1前	1								
	福祉基礎論	1前 1後	2								
	人と動物の関連学	2前	2								
動物の行動と心理	1前	2									
動物管理学	2後 2前	2									
小計 (88科目)	—	6	148	0	3	2	1	3			
合計 (120科目)		8	196	0	3	2	1	3			

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 114	科目 0	科目 120	科目 6	科目 114	科目 0	科目 120	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	行動科学	2	1前	一般	選択	関連科目との科目内容を再整理した結果、平成24年度は本科目で想定していた授業内容をすべて「心理学」「動物の行動と心理」で取り扱うこととしたため。これに伴う代替措置無し。
2	生命倫理学	2	2前	一般	選択	関連科目との科目内容を再整理した結果、平成24年度は本科目で想定していた授業内容をすべて「医療システム論」「医療管理総論」で取り扱うこととしたため。これに伴う代替措置無し。

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	【該当なし】					

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該2科目で想定していた授業内容は関連科目内において取り扱うため、学生の履修への影響はないものとする。今後、関連科目との授業内容の精査を進め、学生が履修する上での教育課程の最適化を図る。
 なお、未開講に伴い、その旨を学生便覧に記載したほか、オリエンテーションや履修指導時に学生へ再周知を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{1.66}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<p>【共用する学校】 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学高等 学校（収容定員： 1,410人/面積基準： 15,480㎡） 関西女子短期大学附属 幼稚園（収容定員： 495人/面積基準： 3,160㎡） 学園総合体育館（別地） 所要時間：徒歩5分 距離：400m ・スクールバス発着場 を算入したため校地が 増加した。（23） ・占用による借地を財 産目録から削除したほ か、一部面積が実測面 積であったため登記面 積に修正したことによ り校地が減少した。 （24）</p>
	校舎敷地	0 ㎡	44,930 ㎡	2,422 ㎡	47,352 ㎡	
	運動場用地	0 ㎡	5,976 ㎡	8,080 ㎡	14,056 ㎡	
	小 計	0 ㎡	50,906 ㎡	10,502 ㎡	61,408 ㎡	
	そ の 他	1,493 ㎡	64,976 ㎡ 65,779 ㎡ 64,995 ㎡	667 ㎡	67,136 ㎡ 67,939 ㎡ 67,155 ㎡	
	合 計	1,493 ㎡	115,882 ㎡ 116,685 ㎡ 115,901 ㎡	11,169 ㎡	128,544 ㎡ 129,347 ㎡ 128,563 ㎡	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<p>【共用する学校】 関西福祉科学大学 使用上の区分変更及び 既存校舎の改修により 各区分の面積が増減し した。（23） ・使用上の区分変更 に伴い各区分の面積が 増減した（24）</p>	
	9,974 ㎡ 9,933 ㎡ 9,122 ㎡	8,576 ㎡ 7,960 ㎡ 9,182 ㎡	27,248 ㎡ 27,930 ㎡ 27,519 ㎡	45,798 ㎡ 45,823 ㎡ (41,839 ㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	<p>短期大学全体（関西福 祉科学大学との共用分 を含む） ・教室数：使用上の区 分変更に伴い増減し した。（23） ・教室数：使用上の区 分変更に伴い減少し した。（24） ・補助職員：平成23年 5月1日の雇用実績に基 づき変更。（23）</p>
	28 室 31 室 27 室	1 室 2 室 6 室	24 室 29 室 27 室	2 室 8人 (補助職員 9人)	0 室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		
	医療秘書学科			9 室		

図書・設備	(5)	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	<p>【図書】 関西福祉科学大学及び短期大学全体での共用分を含む 大学：6,519冊 〔66冊〕 短大：35,158冊 〔2,417冊〕</p> <p>・図書・学術雑誌：整備・充実を図ったため増加した。(23)</p> <p>・視聴覚資料：平成22年度に短大共用分の老朽化した視聴覚資料を廃棄し、必要分は新規購入したが点数は減少した。今後は完成年度まで計画通りの購入を予定しているため、完成年度の点数も連動して減少している。(23)</p> <p>・図書・視聴覚資料の整備・充実を図ったため増加した。また、電子ジャーナルの外国書の減少理由については、契約しているデータベースの増加が少なかったため。(24)</p> <p>【機械・器具】 短期大学全体での共用分を含む 741点</p> <p>・機械・器具：設備の充実を図ったため増加した。なお、当初の校舎改修・使用計画の変更に伴い、設置予定の一部が医療秘書学科に所属しないことになったため完成年度の点数が減少している。(23)</p>
			冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
			医療秘書学科	60,820 [2,729]	38 [0]	890 [170] 650 [200]	1,522 1,502 1,545	837 881	
		(56,544 [2,729]) (55,090 [2,729]) (54,953 [2,729])	(38 [0]) (24 [0]) (19 [0])	890 [170] (613 [160])	(1,390) (1,330) (1,373)	(760) (747)	(0)		
		計	60,820 [2,729]	38 [0]	890 [170] 650 [200]	1,522 1,502 1,545	837 881	0	
			(56,544 [2,729]) (55,090 [2,729]) (54,953 [2,729])	(38 [0]) (24 [0]) (19 [0])	890 [170] (613 [160])	(1,390) (1,330) (1,373)	(760) (747)	(0)	
(6)	図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		<p>関西福祉科学大学及び短期大学での共用分を含む ＜大学＞ 面積：862㎡/閲覧座席数：258席/収納可能冊数：57,600冊</p>	
		1,336㎡		346席		113,000冊			
(7)	体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				<p>関西福祉科学大学と短期大学で共用</p>	
		7,053㎡		テニスコート 2面					
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	<p>短期大学全体</p> <p>当初の校舎改修・使用計画の変更に伴い、医療秘書学科で購入を計画していた予定設備の一部を他学科で購入することとなったため、金額が減少した。医療秘書学科については、必要設備を購入したうえで既存校舎を使用するよう計画変更したため、金額減少による教育への支障はない。(23)</p>
			教員1人当り研究費等	講師以上 280千円		280千円	図書購入費	4,000千円	
			助教 200千円	200千円					
		経費の見積り							
		共同研究費等	0	0	設備購入費	2,369千円 6,155千円	0	0	
		学生1人当り納付金	第1年次 1,280千円	第2年次 980千円	第3年次 —千円	第4年次 —千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	関西福祉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会福祉学部									
社会福祉学科	4	240	3年次40	1040	学士(社会福祉学)	0.78	平成9年度	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	学年進行中のため設置経過した年数の定員超過率を記載
臨床心理学科	4	100	3年次20	440	学士(臨床心理学)	0.75	平成15年度		
健康福祉学部									
健康科学科	4	90	3年次10	380	学士(健康科学)	0.82	平成15年度		
福祉栄養学科	4	80	3年次5	330	学士(福祉栄養学)	1.05	平成15年度		
保健医療学部									
リハビリテーション学科									
理学療法学専攻	4	80	—	320	学士(理学療法学)	1.08	平成23年度		
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士(作業療法学)	1.07	平成23年度		
大学の名称	関西福祉科学大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会福祉学研究科									
臨床福祉学専攻(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(臨床福祉学)	0.27	平成13年度	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	
臨床福祉学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(臨床福祉学)	1.22	平成15年度		
心理臨床学専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士(心理臨床学)	0.95	平成15年度		

大学の名称	関西女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保育科	2	100	—	200	短期大学士（保育学）	0.86	昭和40年度	大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目11番1号	
保健科	2	40	—	80	短期大学士（保健学）	1.13	昭和42年度		
歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士（歯科衛生学）	1.01	平成17年度		
医療秘書学科	2	60	—	120	短期大学士（保健学）	1.04	平成23年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療秘書学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名			
専	教授(学科長)	堀 初子	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合コース※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 医療秘書概論 医療秘書実務Ⅰ 医療秘書実務Ⅱ 医療秘書病院実習※ 秘書概論	専	教授(学科長)	堀 初子	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合コース※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 医療秘書概論 医療秘書実務Ⅰ 医療秘書実務Ⅱ 医療秘書病院実習※ 秘書概論			
				秘書実務Ⅰ 秘書実務Ⅱ					班編成での授業運営上、同一教員による同内容での教授が望ましいと再考したため教員を1名(中楠登志子)に変更(23)			
				秘書実務Ⅰ 秘書実務Ⅱ					班編成での授業運営上、複数教員による教授が望ましいと再考したため再度追加(24)			
専	教授	宗清 芳美	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 発達と老化の理解Ⅱ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ 介護の基本Ⅲ 介護の基本Ⅳ 介護の基本Ⅴ 生活支援技術Ⅳ 生活支援技術Ⅶ	専	教授	宗清 芳美	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 発達と老化の理解Ⅱ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ 介護の基本Ⅲ 介護の基本Ⅳ 介護の基本Ⅴ 生活支援技術Ⅳ 生活支援技術Ⅶ			
				介護福祉特論Ⅰ					「介護福祉特論Ⅱ」との連携強化のため、同一教員による教授が望ましいとの再考により担当者変更(清水香織(専任))(24)			
				介護概論					兼任 講師 中村 吟子 平成24年4月 介護概論 授業内容を再考した結果担当者を兼任教員に変更(24)			
専	教授	水鳥 正二郎	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 情報処理論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ								
				メディカルコンピューティングⅠ メディカルコンピューティングⅡ							兼任 講師 中鹿 直樹 平成24年4月 メディカルコンピューティングⅠ メディカルコンピューティングⅡ	班編成での授業運営上、複数教員による教授が望ましいと再考したため兼任教員を1名追加(24)
				医療情報システム論								
専	准教授	中楠 登志子	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 医療秘書実務Ⅰ 医療秘書実務Ⅱ 秘書実務Ⅰ 秘書実務Ⅱ 人間関係論 コミュニケーション基礎論								
専	准教授	梅田 純子	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 介護技術 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 医学入門Ⅰ 医学入門Ⅱ 小児クランク概論								

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	講師	泉 浩実	平成23年4月	基礎演習 I 基礎演習 II 研究演習 I 研究演習 II 人体構造・機能論 I 人体構造・機能論 II 病態栄養学 臨床検査概論						
専	助教	清水 香織	平成23年4月	基礎演習 I 基礎演習 II 研究演習 I 研究演習 II 人体構造・機能論 I 人体構造・機能論 II 人体構造・機能論 III 認知症の理解 I 認知症の理解 II 障害の理解 II 生活支援技術 V 介護総合演習 I 介護総合演習 II 介護福祉施設実習 I※ 介護福祉特論 II 介護福祉特論 III	専	助教	清水 香織	平成23年4月	人体構造・機能論 I 人体構造・機能論 II 人体構造・機能論 III 認知症の理解 I 認知症の理解 II 障害の理解 II 生活支援技術 V 介護総合演習 I 介護総合演習 II 介護福祉施設実習 I※ 介護福祉特論 II 介護福祉特論 III	適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減 (23)
									介護福祉特論 I	「介護福祉特論 II」との連携強化のため、同一教員による教授が望ましいとの再考により、宗清芳美(専任)から変更 (24)
専	助教	三田村 知子	平成23年4月	基礎演習 I 基礎演習 II 介護技術 研究演習 I 研究演習 II 生活支援技術 II 生活支援技術 III 生活支援技術 VI 介護過程総論 介護過程 I 介護過程 II 介護過程 III 介護過程 IV 介護総合演習 III 介護総合演習 IV 介護福祉施設実習 II	専	助教	三田村 知子	平成23年4月	介護技術 生活支援技術 II 生活支援技術 III 生活支援技術 VI 介護過程総論 介護過程 I 介護過程 II 介護過程 III 介護過程 IV 介護総合演習 III 介護総合演習 IV 介護福祉施設実習 II	適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減 (23)
										適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため削減 (24)
専	助教	西山 良子	平成23年4月	基礎演習 I 基礎演習 II 研究演習 I 研究演習 II 診療報酬概論 診療報酬請求事務演習 I 診療報酬請求事務演習 II 診療報酬請求事務演習 III 診療報酬請求事務演習 IV 医事コンピュータ演習	専	助教	西山 良子	平成23年4月	診療報酬概論 診療報酬請求事務演習 I 診療報酬請求事務演習 II 診療報酬請求事務演習 III 診療報酬請求事務演習 IV 医事コンピュータ演習	適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減 (23)
										適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため削減 (24)
兼任	教授	鍵岡 正俊	平成23年10月	現代と法(憲法を含む)総合コース※						
兼任	教授	嶋田 博	平成23年4月	医療秘書病院実習※ 介護福祉施設実習 I※						
兼任	教授	高木 信良	平成23年10月	スポーツ I 救急処置						
兼任	准教授	北川 末幾子	平成24年10月	健康科学※ 介護実習	兼任	講師	高田 恵美子	平成24年10月	健康科学※ 介護実習	平成24年4月 兼任講師 北川末幾子 退職のため担当者変更 (24)

認可時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	家高 将明	平成23年4月	21世紀の福祉						平成24年4月 兼任講師 家高将明 本人都合により辞退したため、担当者を植田光紀(兼任)1名に変更(24)	
				地域福祉論							
				介護保険概論	兼任	講師	丸山 千枝	平成24年10月	介護保険概論		平成24年4月 兼任講師 家高将明 本人都合により辞退したため担当者変更(24)
				コミュニケーション技術 コミュニケーション基礎論 福祉基礎論							
兼任	講師	北瀬 千穂	平成23年4月	日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 日本語	兼任	講師	田口 路枝	平成23年4月	日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 日本語	平成23年4月 兼任講師 北瀬千穂 本人都合により辞退したため担当者変更(23)	
					兼任	講師	北瀬 千穂	平成24年10月	日本語表現法Ⅱ	班編成の増加による授業運営上、複数教員による教授が望ましいと再考したため、当初担当予定であった北瀬千穂を再追加(24)	
兼任	講師	向井 康比己	平成24年4月	生命倫理学							
兼任	講師	山川 咲子	平成23年4月	心理学							
兼任	講師	高橋 京子	平成23年4月	心理学 医療と福祉							
兼任	講師	北村 真知子	平成23年4月	行動科学							
兼任	講師	乗田 陽子	平成23年4月	社会学 女性学							
兼任	講師	鈴木 剛	平成23年10月	生物学							
兼任	講師	南茂 由利子	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ							
兼任	講師	イアン・ハリス・キャンベル	平成23年10月	英語コミュニケーション	兼任	講師	中戸 一子	平成24年10月	英語コミュニケーション	平成23年4月 兼任講師 イアン・ハリス・キャンベル 本人都合により辞退したため担当者変更(23)	
				英会話							
兼任	講師	福田 完治	平成23年10月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ							
兼任	講師	村上 成治	平成24年10月	スポーツⅡ							
兼任	講師	永井 重良	平成23年4月	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	兼任	講師	中鹿 直樹	平成23年4月	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	平成23年4月 兼任講師 永井重良 本人都合により辞退したため担当者変更(23)	
					兼任	講師	東 公子	平成24年4月	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	平成24年4月 兼任講師 中鹿直樹 他科目担当のため担当者変更(24)	
兼任	講師	治部 哲也	平成24年10月	情報社会論							
兼任	講師	植田 光紀	平成23年10月	21世紀の福祉 介護概論							
兼任	講師	川本 健太郎	平成23年4月	地域福祉論	兼任	講師	柿木 志津江	平成24年4月	地域福祉論	平成24年4月 兼任講師 川本健太郎 本人都合により辞退したため担当者変更(24)	
兼任	講師	詫間 宏道	平成23年10月	手話							
兼任	講師	西方 真弓	平成24年4月	薬理学							
兼任	講師	森 禎章	平成24年4月	医学基礎Ⅰ 医学基礎Ⅱ※							

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	大塚 順子	平成24年4月	医学基礎II※ 臨床医学I	兼任	講師	志水 秀郎	平成24年4月	医学基礎II※ 臨床医学I	平成24年4月 兼任講師 大塚順子 本人都合により辞退したため担当者変更 (24)
				臨床医学II 臨床医学III 臨床医学IV						
兼任	講師	都村 尚子 (塩山)	平成23年10月	発達と老化の理解I バリデーション						
兼任	講師	由利 祿巳	平成23年10月	障害の理解I						
兼任	講師	福岡 功二	平成23年4月	保健医療福祉関連法規 医療制度概論 医療システム論						
兼任	講師	伊藤 良則	平成24年10月	医療管理総論						
兼任	講師	上垣 芳樹	平成24年4月	診療報酬特論 包括算定演習	兼任	講師	岡本 健	平成24年4月	診療報酬特論 包括算定演習	平成24年4月 兼任講師 上垣芳樹 本人都合により辞退したため担当者変更 (24)
兼任	講師	森 雅美	平成23年10月	診療情報管理学※						
兼任	講師	白澤 佐和子	平成23年10月	診療情報管理学※						
兼任	講師	五十嵐 よしゑ	平成24年4月	国際疾病分類論						
兼任	講師	浅野 美幸	平成24年4月	分類法I 分類法II						
兼任	講師	小林 浩子	平成23年4月	生活支援技術I						
兼任	講師	本宮 幸孝	平成24年4月	医療心理学						
兼任	講師	竹原 直美	平成23年4月	音楽	兼任	講師	青木 智美	平成24年4月	音楽	平成24年4月 兼任講師 竹原直美 本人都合により辞退したため担当者変更 (24)
兼任	講師	中川 哲男	平成24年4月	人と動物の関連学 動物管理学						
兼任	講師	佐伯 大輔	平成23年4月	動物の行動と心理	兼任	講師	永石高敏	平成23年4月	動物の行動と心理	平成23年4月 兼任講師 佐伯大輔 本人都合により辞退したため担当者変更 (23)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
3	2	1	3	9	0	3	2	1	3	9	0	
(3)	(2)	(1)	(3)	(9)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			【該当なし】

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<医療秘書学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①施設、設備等の整備計画 校舎等、施設の整備計画（別紙[資料1]参照）	当初、医療秘書学科が使用する目的で改修を予定していた専門学校3号館であるが、既存校舎も含めた使用計画の変更により、別紙[資料1]の通り変更する。 また、授業科目の関係上、医療秘書学科が使用する校舎・教室を別紙[資料1]の通り追加する。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況（別紙[資料2]参照）
ア. FD委員会（平成17年度～） ※平成23年度より授業評価委員会（平成18年度～）を統合
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）（平成23年度開催状況）
ア. FD委員会
全6回開催（参加者数 延べ116名）
- c 委員会の審議事項等
ア. FD委員会：FD活動の推進、授業改善の方策、授業評価（授業アンケートの方法、評価結果の分類・解析方法、評価結果の報告等）、教員の研修計画の立案・実施等に関連する事項を取り扱う。
- ② 実施状況
- a 実施内容
ア. FD委員会
ア) 授業の公開（授業参観）の実施
イ) 授業へのIT活用提案・促進と科目毎のクイズ（小テスト）の実施・促進
ウ) 自己啓発シートでの振り返りの継続
エ) 各種研修会の開催（新任教員教務研修会、新任・昇任教員研修会、FD研究会等）
オ) 授業アンケートの実施・分析
- b 実施方法
ア. FD委員会：全教育職員（専任・非常勤）を対象に様々なFDに関するプログラムを企画し実施した。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）（平成23年度実施分）
ア) 授業公開（授業参観）を秋学期（9/26～1/20）に実施し、参観後のアンケートの任意提出が28名あった。
イ) 学内IT講習会（文書作成ソフト）を9/21に実施し、8名の参加者があった。
ウ) 全教育職員（専任・非常勤）を対象に自己点検シートによる授業改善のための振り返りを12月に実施し、専任31名、兼任40名からの提出があった。
エ) 外部講師による講演「授業評価を生かした授業づくり」を9/7に学内で実施し、21名が参加した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
FD委員会では、教員の自己啓発に資するため、授業での小テストの実施の手助けとなるITシステム構築や、学生による授業アンケート結果を踏まえ、教員の授業に対する自己点検方法の再考を行っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
ア. ゼミと実技・実習を除く全科目を対象に、春学期は5/23～6/3、秋学期は11/7～11/19に授業アンケートを実施した。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
ア. 各教員に対して、春学期は6/20に、秋学期は12/6に個人結果をフィードバックした。
（春学期：延べ250科目98名、秋学期：延べ284科目96名）
イ. 結果のまとめ（個人結果の分布状況）は、報告書として3月下旬に全教員に配付した。

- (注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <ul style="list-style-type: none">・別紙 [資料3] 参照 <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成25年3月末 公表予定 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・平成25年3月末に自己点検・評価報告書を刊行し、学内へ配付予定。・大学ホームページ上に公開予定（平成25年3月末予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年度に評価機関（短期大学基準協会）の評価を受ける計画。
--

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年 6月 1日)</p>
--

校舎整備計画 新旧対照表

専門学校3号館 校舎整備計画

階	教室名	届出時	平成23年度履行状況報告時	平成24年度履行状況報告時
1階	図書館	現状にて使用	届出時より変更なし	前回履行状況報告時より変更なし
2階	講師控室	会議室として使用	届出時より変更なし	前回履行状況報告時より変更なし
	322講義室	現状にて使用	保健科研究室に改修	前回履行状況報告時より変更なし
	教材室	予備室	資料保管室・自習室・印刷室として使用	前回履行状況報告時より変更なし
3階	331講義室	講義室	ゼミ室2室(633教室・634教室)に改修	ゼミ室1室(634教室)に改修
	332講義室	講義室	届出時より変更なし	633教室と合体し講義室に改修
	333講義室	小教室2室に改修	改修せず従前のまま使用	前回履行状況報告時より変更なし
4階	341講義室	各室に間仕切りを設置し、ゼミ室①～⑥に改修	改修せず従前のまま使用	前回履行状況報告時より変更なし
	342講義室		改修せず従前のまま使用	前回履行状況報告時より変更なし
	343講義室		改修せず従前のまま使用	前回履行状況報告時より変更なし
5階	352講義室	更衣室として使用	準備室として使用	前回履行状況報告時より変更なし
	353講義室	更衣室として使用	保管室として使用	相談室として使用
	家政実習室	家政実習室	衛生学実習室として使用 ※家政実習室は既存校舎を使用	前回履行状況報告時より変更なし ※家政実習室は既存校舎を使用
6階	入浴実習室	現状にて使用	届出時より変更なし	前回履行状況報告時より変更なし
	介護実習室	現状にて使用	届出時より変更なし	前回履行状況報告時より変更なし
7階	基礎作業室Ⅰ	介護教員研究室に改修	改修せず従前のまま使用	前回履行状況報告時より変更なし
	基礎作業室Ⅱ	診療情報教員研究室に改修	改修せず従前のまま使用	前回履行状況報告時より変更なし

新規使用校舎

校舎	教室	使用授業
短大2号館	裁縫作業室	生活支援技術Ⅱ
	裁縫作業室2	生活支援技術Ⅱ
短大3号館	音楽室	音楽
大学3号館	調理実習室B	生活支援技術Ⅰ
	試食室B	生活支援技術Ⅰ

関西福祉科学大学 F D 委員会規程

(委員会の目的)

第 1 条 関西福祉科学大学の建学の精神と教育理念に基づき、関西福祉科学大学（以下「大学」という。）、関西女子短期大学（以下「短大」という。）及び関西福祉科学大学大学院（以下「大学院」という。）の教育研究活動の活性化、教育の資質の向上、自己啓発を図るため、大学に F D 委員会（以下「委員会」という。）を置き、各学科の F D 活動の推進を支援する。

(委員長及び副委員長)

第 2 条 委員長は、関西福祉科学大学長（以下「学長」という。）が選任する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長を補佐するため副委員長をおくことができる。副委員長は学長が選任する。
- 4 委員長に事故があるときは、副委員長又はあらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(委員会の構成)

第 3 条 委員会は、委員長、副委員長及び次の各号に掲げる者をもって構成する。

- 一、大学各学科の教員 1 名
 - 二、短大の教員 2 名
 - 三、大学院研究科の教員 1 名
 - 四、大学及び短大の専任職員 若干名
- 2 前項各号の委員は学長が選任する。
 - 3 委員長が必要と認めたときには、委員以外の者を委員会に出席させて、その者から説明又は意見を聴取することが出来る。
 - 4 教育開発支援センター員は、オブザーバーとして参加することが出来る。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし再任を妨げない。

(委員会の審議事項)

第 5 条 委員会は次の事項を審議する。

- 一、F D 活動の推進に関する事項
- 二、授業改善の方策に関する事項

三、授業評価に関する事項

四、教員の研修計画の立案・実施に関する事項

五、FDに関連するその他の事項

(委員会実施事項の決定)

第6条 委員会で審議された事項の実施については、教育開発支援センター協議会（以下「協議会」という。）の議を経て学長が決定する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育開発支援センター及び教務部が行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、委員会、協議会及び大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則

1. この規程は、平成21年4月1日から施行する。
2. この規程は、平成24年4月1日から改正施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療秘書学科設置の趣旨・目的を達成するため、医療秘書コース・介護福祉コースの教育目的・目標を点検・評価し、3つの方針(学位授与の方針・教育課程の編成方針・求める学生像と受け入れ基本方針)を定めた。教育活動とともに報告し、総括評価・所見を述べる。

医療秘書コース

1. 教育目的・目標

- 1) 建学の精神「感恩」の心をすべての営みの基礎におき、医学的知識と技術、深い教養を身につけ、患者の立場で考え、行動でき、医療の現場で貢献できる優秀な医療秘書の育成を目的とする。また、教育目標として次の3つを掲げる。

- ①感性豊かで向上心を持つ医療従事者を育成する。
- ②基礎医学と医療の知識・技術の修得を図る。
- ③診療管理能力を育成する。

以上の目標を達成するために、カリキュラムは医学の基礎、医療秘書の実務、診療情報の管理、情報の管理、福祉の基礎等の科目を中心として編成している。

2) 3つの方針

学位授与の方針、教育課程の編成方針、求める学生と受け入れ基本方針の要点は次のとおりである。

・学位授与の方針

- ①医療秘書という職業を通じて社会に貢献できる。
- ②より優秀な医療秘書をめざして常に新しい知識や技術を習得する意欲を持つ。
- ③医療の現場で適切な人間関係を保つ能力を持っている。
- ④医療秘書として必要な一般的知識を持っている。
- ⑤医療秘書として必要な医学的知識を持っている。
- ⑥医療秘書として十分に医療制度を理解している。
- ⑦医療秘書として必要な事務処理能力を持っている。
- ⑧医療の現場で直面する問題を解決する能力を持っている。

・教育課程の編成方針

学位授与の方針に対応し、向上心や問題解決能力育成を目指した基礎演習、研究演習の設置、共通教育科目の位置づけ、医学系科目、医療秘書実務系科目、診療情報管理系科目、情報管理系科目、福祉基礎科目の設置を謳っている。

・求める学生像と受け入れ基本方針

教育目的・目標を達成するために、求める人材として、学修を行うに十分な基礎的学力を有し、その上に医療現場で働く意志、向上心、思いやりの心とコミュニケーション力を有する人を挙げている。

3) 具体的な取り組み状況

学位授与の方針のうち、職業理解はキャリア教育・職業教育として教育課程内外で取り組んでおり、一般的知識、医学的知識、医療制度の理解、事務処理能力、人間関係構築能力は教育課程編成の方針で明確に位置づけ、科目を開講している。向上心及び問題解決能力に関しては、教育課程編成の方針でゼミ形式の授業科目（演習）を挙げ、取り組んでいる。

2. 教育活動

1) 教育課程

(1)教育課程編成

教育課程の編成方針に従い、キャリア教育関連として共通教育科目を位置づけ、職業教育関連として専門教育科目を開講している。つまり、特別講義を含む総合教養科目、外国語科目、健康教育科目、情報教育科目、福祉教育科目、医学系科目、医療秘書実務系科目、診療情報管理系科目、情報管理系科目、福祉基礎科目をバランスよく開設している。

(2)課程外キャリア教育

以下の取組みを実施した。

①卒業生の講話

②外部講師講話（医師事務作業補助、キャリアデザインについて）

③大阪府下短大協会主宰の就職ガイダンスに1年生全員参加の指導

④文部科学省後援の秘書技能検定試験や医療秘書教育協会主催の医療秘書検定試験の対策講座をレベル別に複数回実施

(3)学習支援

①定期試験の成績不良学生に対して補講を実施

②秘書関係・医療事務関係・情報関係の検定試験（認定）等では専任教員及び非常勤講師が対策講座を複数回行い、資格取得支援を実施

③数学・国語の基礎学力、論文作成の基本、基礎医学と現代の医療環境や医療機関に勤める者の心構え等をテーマとする特別講義を開講

④1年生の夏季・春季休暇に医学用語等の宿題を課し、事後の指導を実施。

また、医療人育成に際しボランティア体験を重視し奨励。1年生は夏季及び春季休暇期間中に全員、病院や施設でボランティアを体験。市の行事や施設の行事にもボランティアとして参加し、地域支援プログラムの一環で3回の施設訪問にて、ドッグセラピーを実施。

2) 教員組織

教員の専門分野は、秘書学2名、基礎医学2名、医療業務1名、情報1名で、

人間関係構築や基礎医学を重視する本コースの方針に従ったバランスの良い配置である。ゼミ形式の演習は助教を除く5名が担当し、講義形式・実習形式の各種学内実習科目、学外の病院実習、検定試験対策の特別講義、基礎学力強化のための特別講義がある。実習・演習形式の科目は2班編成し、少人数で行っている。病院実習は、地方の病院まで全学生に巡回指導を行っている。

介護福祉コース

1. 教育目的・目標

- 1) 「感恩」の心をすべての営みの基礎に置き、介護に関する知識と教養を身につけ、相手の立場で考え、行動でき、介護の現場で社会に貢献する優秀な介護福祉士の育成を目的とする。また、短期大学の介護福祉コースとして、高いレベルで介護現場における専門職としての役割を果たす介護福祉士の養成を目的とする。また、教育目標として次の3つを掲げる。

①介護の理念・倫理的態度の体得を図る。

②介護に関する知識・技術の修得を図る。

③チームの一員として、利用者のニーズに対応できる能力を育成する。

以上の目標を達成するために、カリキュラムは医学系及び介護福祉系の科目を中心として編成している。

2) 3つの方針

学位授与の方針、教育課程の編成方針、求める学生像と受け入れの基本方針の要点は次の通りである。

・学位授与の方針

①職業人としてふさわしい対人スキル、教養を身につける。

②介護福祉士として求められる倫理的態度を身につける。

③介護に関する社会保障の制度・施策の基礎的な理解が出来る。

④生活支援に必要な技術の根拠が理解できる。

⑤生活を支える上で必要な基本視点を理解し、適切な対応が出来る。

⑥利用者や職種間に対する円滑なコミュニケーションの方法を身につける。

⑦アセスメントに基づいたサービスを統合的、計画的に提供できる力を身につける。

⑧多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解し、他の職種の役割を把握した上で組織的に参画する能力を身につける。

・教育課程の編成方針

学位授与の方針に対応し、善良な社会人としての基礎能力を修得する。

その上に介護福祉士としての必要な能力を修得させる教育課程を編成している。

・求める学生像と受け入れ基本方針

教育目的・目標を達成するために、教育課程を消化するに十分な基礎学力を有し、その上に以下の能力を有する人材を求めるとしている。

- ①介護の現場で貢献したいという強い意志を持ち、「人の役に立ちたい」という気持ちを持ち続けることができる人。
- ②専門家をめざして常に向上するという意欲を持つ人。
- ③思いやりの心とコミュニケーションを大切に、それらの資質を適切に表現する能力を有する人。

3) 具体的な取り組み状況

教育目的・目標を達成するために、3つの方針の再確認と再設定を全学の教務関連教職員との連携のもとで実施し、スタッフ一同の合意形成を行った。また、その際には、学習成果の可視化も視野に入れて実施した。その成果として、短期大学士としての介護福祉士の育成の観点によるコアカリキュラム、カリキュラムマップ、3つの方針、学習の成果等の設定がなされた。

2. 教育活動

1) 教育課程

(1) 教育課程編成

教育課程の編成方針に従い、キャリア教育関係としては共通教育科目を、職業教育関係では、医学系科目、介護福祉系科目を設置し、短期大学士、介護福祉士の養成のための教育課程編成とした。

(2) 課程外キャリア教育

平成23年度は初年次であり、1年生のみであったため、具体的な就職指導はできなかったが、下記の取り組みを行った。

- ①学生支援センターによる就職ガイダンスには全員参加
- ②学内外の実習前後に、課外授業として介護福祉士としての心構えや倫理観等について指導
- ③実習施設等からのボランティアの要請に対して、出来るだけ多く参加するよう促し参加後のフォローも実施

(3) 学習支援

- ①成績不振者に対して、補習指導を行った。
- ②基礎学力向上にむけて、入学前教育の課題に対する事後指導を個別に行い、その学習成果に対して再試験を課すなどして確認を繰り返した。
- ③成績上位者には、「福祉住環境コーディネーター」等の資格取得に向けた個別指導を行った。
- ④社会活動（ボランティア活動）として、地域支援プログラムである「アニマルセラピー」講座に参加し、3回施設訪問してドッグセラピーを行った。
- ⑤ボランティアでは、特別養護老人ホーム和里の夏祭り、介護老人保健施設ふれあいの秋祭り、障がい者支援施設愛光園の愛光祭りに参加した。また、地域支援プログラムのプレイルーム活用にも参加した。

2) 教員組織

法的に定められた介護福祉士養成のための教育課程は3つの主要領域からなっ

ている。その1つの「人間と社会」領域に1名、「介護」の領域に2名、「こころとからだのしくみ」の領域に2名（※1名重複）の専任教員を設置計画どおり変化させず配置している。

II. 達成状況に関する総括評価・所見

以上のように、医療秘書学科設置の趣旨・目的を達成すべく、教育目的・目標、3つの方針を定め、教員は個々の学生に丁寧な指導を心がけ、特段の課題とすべき教育上の事項もなく教育活動を実践できたと考える。

入学者は平成23年度69名で入学定員を満了したが、平成24年度は56名の入学者で、60名の入学定員を充足することができなかった。コース別では、定員25名の介護福祉コースの定員充足が望まれる。高齢化が進むわが国において、介護職の人材育成は大きな社会問題にもなっており、社会的ニーズが高まることは明らかである。次年度以降、短期大学として質の高い教育を展開し、介護福祉コースに対する社会的評価を高め、入学生増加に努める。

次年度にあっても、教育目的・目標、3つの方針等の点検・評価を行うとともに、第1回目の卒業生を輩出することもあり、医療機関で役立つ、優秀な人材育成を目指し、レベルの高い各種検定、あるいは認定試験の合格者の増加を図るなど、一層充実した教育活動を展開し、就職率100%を目標に最善の努力を果たす。